

アマダマシンツールのプレス事業をオリイメックに承継し、新会社へ

金属プレス加工の総合的な自動化ソリューションを提供

株式会社アマダホールディングス(神奈川県伊勢原市、代表取締役社長:磯部 任)は、プレス事業の強化を目的として、2019年4月1日付で、株式会社アマダマシンツール(神奈川県伊勢原市、代表取締役社長:田所 雅彦)のプレス加工機械事業を吸収分割により、当社の100%子会社でプレス加工機械向けの自動化装置などを手掛けるオリイメック株式会社(神奈川県伊勢原市、代表取締役社長:高畠 一)へ承継させることを、本日決定しました。4月より、社名を「株式会社アマダオリイ」に変更し、プレス加工機械と自動化装置を一体化させた自動化ソリューション、ならびに最適な成形加工システムを提供していきます。

■ 背景・目的

アマダホールディングスは、プレス事業の競争力強化を目的に、2018年10月にオリイメックの株式を取得し、以降、アマダマシンツールとオリイメックは協業してプレス加工機械の自動化ソリューションの提案を進めてきました。一方で、金属プレス加工業界を取り巻く環境は、深刻な人材不足を背景とした自動化需要の高まりや、自動車市場で採用が進む軽量化素材や複雑な形状に対応する加工技術の開発要請が強まるなど、急速に変化しています。

こうした環境変化に対して、より強固にスピード感をもって対応するために、機動的かつ効率的な事業体制を構築することとしました。

■ 今後の展開

両社が各々で培ってきた、開発から販売、サービスに至る機能や経営資源を融合させて、プレス加工の総合メーカーとして、これまで以上に付加価値の高い提案力を発揮していきます。

自動化需要に対しては、主に自動車部品の加工ライン向けに、複数の小型プレス機と搬送ロボットをつなげて協調制御を行うタンデムラインで応えていきます。併せて、長年蓄積してきた生産工程の設計ノウハウを活かし、お客さまの加工ニーズに最適な成形加工システムを総合的に提案していきます。また、アマダグループとオリイメックが世界各地に持つ販売ネットワークを活用しながら、グローバル市場での存在感を高めることに努めます。

商品開発については、両社の技術力を一体化させて、より生産性が高く、熟練者でなくても使いやすい新たなプレス加工の自動化ソリューションを創出していきます。軽量化素材として需要拡大が見込まれる高張力鋼板(ハイテン)などの新たなプレス加工法を開発することにより、新規市場の開拓も目指します。

さらに、株式会社アマダ（神奈川県伊勢原市、代表取締役社長：磯部 任）富士宮事業所におけるプレス加工機械の生産能力を増強し、オリイメックの現有能力と合わせて、今後の成長を見据えた供給体制の強化を図ります。

アマダホールディングスは、中期経営計画における成長戦略の重点施策として、自動化ソリューションビジネスの推進とグローバル市場の拡大を掲げています。プレス事業の統合および組織の再編を通じて、グローバルでの競争力をさらに強化し、プレス事業の売上高を 2021 年度までに 250 億円にまで拡大することを目指します。

■ アマダオリイの概要

社名	株式会社アマダオリイ (AMADA ORII CO., LTD.)
所在地	神奈川県伊勢原市石田 200
事業開始	2019年4月1日予定
代表者	代表取締役社長 坂木 雅治
事業内容	プレス加工機械、自動化装置、ばね成形機などの開発、製造、販売、サービス
資本金	1,491 百万円
従業員	アマダオリイ単体：約 350 名、アマダオリイグループ計：約 530 名

以上

(参考) プレス事業再編後の体制

